

展示テーマ

戦時の裏面

衣食住／交通・旅客／教育・医療／備える／女性／情報・通信とメディア／言論統制と始末書

終戦直後の裏面

爪痕／一転／明らかになる／占領と横浜

戦争末期から終戦後の数年間、用紙の供給事情が悪化していたことから、新聞は表裏2ページしかありませんでした。戦況や戦後処理の主要ニュースを伝える1面に対し、裏面(2面)には何が載っていたのでしょうか。戦争末期は「野草の粉食の推奨」「手りゅう弾の扱い方」「防空壕のつくり方」……。終戦直後は「進駐軍との付き合い方」「石炭不足に悩む病院」「真珠湾攻撃の真相」……。終戦前後の世相を色濃く反映していました。

本展は、1945(昭和20)年1月から、8月の終戦を経て12月までの新聞の裏面を展示し、新聞が戦況や歴史的出来事を報じるだけでなく、戦中・戦後を生き抜く人々の姿や生活を伝え続けてきたことを紹介します。終戦直後の横浜については外国人カメラマンが撮影した



アメリカ兵と横浜市民 N.Y.デリー・ニュース写真コレクション(共同通信社寄託)から 1945年10月



読売ニュース「男に代わって女性の建設戦行進譜」 1938年11月12日

「N.Y.デリー・ニュース写真コレクション」(共同通信社寄託資料)も展示。併せて、当局による執拗な言論統制という新聞報道の「裏面」に、河北新報社(仙台市)から寄託を受けている「始末書」の展示で迫ります。

⑨ 気象情報など書けぬ
手紙から始まる「始末書」

⑧ 素人にも作れる強い決戦住宅
▼ After 8.15

⑦ 米調査団が解剖
日本の殺人光線

陽気なアメリカ兵
進駐軍兵舎に一日入営

⑥ 縮め出し
旅行者の食券

⑤ 縮め出し
縮め出し

① 手榴弾の扱い方
投げ方が早いと危険

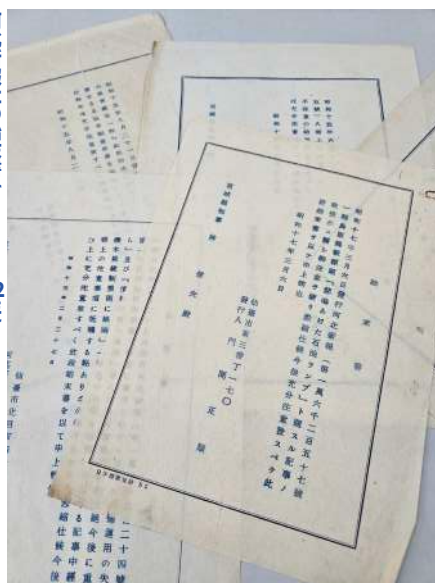
② 郵便はなぜ遅れるか
量は増える一方
捌き 手不足
協力を持つ

③ 真珠湾前夜
縮め出し

④ 縮め出し
縮め出し

① 朝日新聞	1945年4月16日
② 毎日新聞	1945年4月4日
③ 読売新聞	1945年10月30日
④ 毎日新聞	1945年12月28日
⑤ 読売新聞	1945年9月15日
⑥ 読売新聞	1945年11月21日
⑦ 朝日新聞	1945年10月8日
⑧ 朝日新聞	1945年5月7日
⑨ 北海道新聞	1945年4月16日

河北新報社の始末書(1937~42年)



ニュースパーク
日本新聞博物館

<https://newspark.jp>

〒231-8311 神奈川県横浜市中区日本大通11 横浜情報文化センター TEL:045-661-2040

交通アクセス
みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口直結
JR根岸線・横浜市営地下鉄「関内駅」徒歩10分
横浜市営バス・神奈川中央交通「日本大通り駅県庁前」徒歩1分
車で首都高速「横浜公園出口」から約3分

